

BSS山陰放送 米子発電所 日本

地上設置型

- 放送局の敷地を有効活用
- わずか3ヶ月で29,400m²の広さに設置
- 魅力的な助成制度と高い性能による健全な投資

1.7

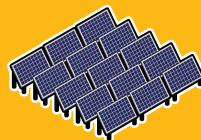
MW
システムサイズ

1,840

MWh
年間発電量

1,200

トンのCO₂を
削減(1年当たり)



発電所への
導入例

株式会社アドバンテックとBSS山陰放送は、AMラジオ放送の送信所にREC PEAK ENERGYシリーズの太陽光モジュール7,056枚を用いた太陽光発電所を併設することで、将来への堅実な投資を行っています。

「私たちは使用電力の100%を賄うため、確実に保証された高品質で高性能な製品を求めています。RECは正しい選択です。」

株式会社アドバンテック、代表取締役 山名正英



政府の固定価格買い取り制度によって、RECの太陽光モジュールを使った太陽光発電所の所有者は、投資に対する着実なリターンが得られると共に、地域社会や地球環境の保護に貢献します。

BSS山陰放送のAMラジオ放送送信所の敷地内にこの発電所を建設することで、土地を有効に活用することができ、アドバンテック社とBSS山陰放送の双方にとって良い結果を生み出しています。またBSS山陰放送の米子発電所はCO₂の排出量を年間1,200トン削減しています。

2013年3月27日に、鳥取県の平井伸治 知事やアルネ・ウォルター 駐日ノルウェー大使などを来賓に迎えてテープカットの式典が行われ、発電所が正式に稼働を開始しました。ウォルター 駐日大使にご出席いただいたことから、RECの持つ世界的な知名度とノルウェー社会における貢献度がうかがえます。



米子にあるテレビとラジオの放送局、BSS山陰放送の敷地内に7,000枚以上の太陽光モジュールが設置されました。これにより、日本の一般家庭510世帯の電力を十分に賄える1.7 MWの発電所が誕生しました。

この29,400 m²の広さに及ぶ地上設置型の発電所は、2011年からのRECパートナーであるアドバンテック社によって設置されました。この太陽光発電所はアドバンテック社とBSS山陰放送が共同で所有しています。

アドバンテック社の代表取締役である山名正英氏は、「これほど早く発電所の建設を完了でき、非常に満足しています。着工から完成までわずか3ヶ月しかかかりませんでした。私たちは使用電力の100%を賄うため、確実に保証された高品質で高性能な製品を求めています。RECは正しい選択です。」と話しています。

プロジェクト概要

BSS山陰放送 米子発電所

地上設置型

所有者:

株式会社アドバンテックおよびBSS山陰放送
(土地所有者: BSS山陰放送)

設置場所:

鳥取県米子市

設置タイプ:

地上設置型発電所

システムの規模:

1.7 MW

モジュールタイプ:

REC 250 PE

設置モジュール数:

7,056

年間発電量:

1,840 MWh

完成年月日:

2013年3月

EPC:

株式会社アドバンテック

RECはヨーロッパ最大の太陽光モジュールブランドです。2014年末までに累計1500万枚の高品質のモジュールを生産しました。シンガポールにてポリシリコンからウェハー、セル、モジュールを一貫生産しております。また、エネルギー需要にこたえるべく、パートナーシップを結んだ販売店、設置事業者やEPCを通してグローバルに採用されています。1996年に創設されたRECはノルウェーに本社、シンガポールに事業本部があり、現在はBluestar Elkem社の傘下企業です。従業員は世界全体で約1800名おり、2014年の売り上げは6.8億USDです。



www.recgroup.com